

埋蔵文化財調査室ニュースレター

HP:<http://www.let.osaka-u.ac.jp/maibun/index-maibun.htm>

第11号 2020年2月

大阪大学では、1983年に豊中キャンパスの工事中に弥生時代の集落跡が発見され、法的対応（文化財保護法*への対応）が必要となりました。そして、1985年に埋蔵文化財調査委員会が発足し、埋蔵文化財調査室が調査にあたることとなりました。

大阪大学のキャンパス内には、実は、多くの遺跡が眠っています。普段、大阪大学の学生や教職員、地域の方々が、何気なく歩いている地面の下には、人々が暮らした跡やお墓がみつかり、地域の歴史を復元する上で貴重な資料となっています。豊中キャンパスは、その全域が待兼山遺跡として国の遺跡台帳に登録されており、2000年近く連続と集落や墓域として利用されてきたことが判明しています。また、中之島センター造営の折には、江戸時代の久留米藩蔵屋敷の発掘調査を実施しました。吹田キャンパスの地下にも山田丘遺跡の存在が調査によって判明し、現在、その実態を解明中です。

■キャンパス造成前（大正時代）の住居跡の発見

2017年に実施したR I 総合センター分館北側での発掘調査では、大阪大学ができる前にこの場所に建っていた大正時代の住居跡が発見されました。三和土（たたき：三種類の土を混ぜ合わせて固めた基礎部）や柱の礎石など、住居の基礎部分の構造が良好に残されていたのに加え、碇子（がいし：電気配線の絶縁パーツ）など当時の家庭に用いられていたモノが出土しました。キャンパスが造成されるより以前、近代における待兼山の利用を考える上で、重要な成果といえるでしょう。

※「文化財保護法」について…1949年の法隆寺金堂火災をきっかけに、総合的に文化財を保護する法律として1950年に制定されました。この中で定められた、文化財が土地に埋まっているとされる土地が「周知の埋蔵文化財包蔵地」で、豊中キャンパスは「待兼山遺跡」として包蔵地指定されています。また吹田キャンパスでも近年あらたに遺跡が確認され、「山田丘遺跡」として指定がなされました。昨年、文化財保護法の前身で、本邦記念物保護の最初の取り組みである、「史蹟名勝天然記念物保護法（1919年）」の制定から100年を迎えました。



発掘調査の地点



検出された家屋の基礎



軒先に埋められていた鉢（植木鉢）



出土した遺物の一部（左：土管、右：碇子）

■ いまでもみられる古墳の痕跡

豊中キャンパスの待兼山会館から少し西、刀根山寮方面へ抜ける道の途中には、かつて古墳がありました（待兼山3号墳）。今は既に墳丘は失われていますが、かつてその表面を飾っていた埴輪は、墳丘の崩壊と同時に周辺に埋もれてしまいました。今でも台風の後などに、地中の埴輪が地表面に顔を出していることがあります。

今年度も、新たに埴輪の破片が確認されました。元々は土管のような形をしていた「円筒埴輪」の破片です。この破片の表面には、埴輪をつくる際に用いられた工具の痕跡（ハケメと言います）が残されています。この工具をどのように動かしているか、どのくらい丁寧に表面を整えているかなどの細かい検討を行うと、この埴輪の製作技術が、当時の政権中心地であり、去年世界文化遺産にもなった、「百舌鳥・古市（もず・ふるいち）古墳群」と共通していることがわかりました。

待兼山に葬られた首長が、時の有力者と深い関係にあったことが、この小さな破片からわかるのです。



古墳があった地点（待兼山3号墳）



埴輪に残された製作痕



表面採集された埴輪

■ 埋蔵文化財調査室の役割

日本では、遺跡やそこから出土した遺物は、文化財保護法という法律により、国民共有の財産として保護・活用をはかる対象とされています。

しかし、地中に埋まっている遺跡は、ビルの建設や水道管の改修などといった工事によって、常に破壊の危機に直面しています。大阪大学では、キャンパス内の遺跡保護についての法的対応と、建物計画などとの調和を図るために、埋蔵文化財調査委員会を設置し、その委員会の指導のもとで、埋蔵文化財調査室が遺跡の調査やその活用にあたっています。

工事の立会や発掘調査に加えて、調査成果の展示紹介や、市民講座を日々実施し、キャンパス内の埋蔵文化財の価値について普及啓発活動を進めています。



いちよう祭における調査成果の展示紹介



市民講座のようす（21世紀懐徳堂 i-spot 講座）



小学生向け学習教室での講義（於：大阪大学総合学術博物館）

編集・発行：大阪大学埋蔵文化財調査室（室長 福永伸哉）
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1-5
電話・FAX 番号：06-6850-5106
HP: <http://www.let.osaka-u.ac.jp/maibun/index-maibun.htm>